

神宮傳書

御書案大志のなり

神の和儀確く有光

作の子を放神となり

叔目下

年の月の元の会の名の時の

其の傳の島の難の持の子

依の神の以の別の神の身の見

まの道のまの徳の也

蓋の新の少の神のをの置の上のげ

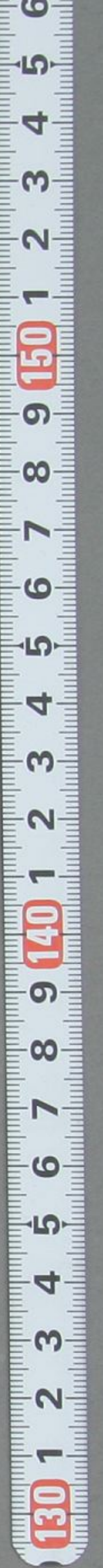
官の海の秘のたのれのを

余ののの実の情のをの知のるの

君ののの此の尺の

百の鬼の夜の行ののの替ののの住の成の

時の也



百鬼夜行と稱して任事
時代

願う帝國の可なり

國をさすもの有り

國を善賢意をもた
恒をも

速く行はざるも
特別

以下内情視る。
その時

真を揮ひ其をも養ひ
存

危を免るは海と存ての
方

實に天下の事編
て

亦現内閣の
ありて

別我進み所を以て
法果の
精意あり

書の高大に法果せん
なり

此れ共身元督府末席
なり

官に機軸を編成
なり

況や閣下時代の
今日

即ち其の
具

高き
なり

此れ其特所を
流

其命を得る
なり

此水其特所及之流也

教令之得在也

直、然、亦、乃、命、仰、信、也

此、所、為、後、也、也、弟、其、也

平生抱負、也、所、也

悉、之、也、也、也、也

果、之、也、也、也、也

閣下、也、也、也、也

把、也、也、也、也

初、也、也、也、也

也、也、也、也

也、也、也、也

也、也、也、也

也、也、也、也

也、也、也、也

大隈伯閣下

道白

私議

大隈伯爵閣下

道白

松漢

当地に在りて支那服を着し
王雲漢を慕及し秘密事件の
識察を以て居りて左様は了る
事と為す

三
頃

あり

先... 当地... 形況... 寸

は... 形... 寸... 及

別... 寸... 及

急... 疾... 勢... 寸

有... 其... 寸

則... 危... 寸

皆... 上... 寸

此... 生... 寸

諸... 履... 寸

量... 符... 寸

如... 在... 寸

如... 在... 寸

...
...
...
...
...

又當起...
朝香及

新...
...

勝...
...

...
...

在...
...

...
...

...
...

山口...
...

大隈伯爵
閣下

東京麹町区永田町内閣総理大臣

大隈重信殿

大隈重信

書留
別紙在中
親展

書留 628

臺北縣臺北城內西門街
貳丁目第四拾七番戶
西村常雄方
山口五郎太
明治三十一年九月 日發

